

第118回エイズ動向委員会
委員長コメント

【平成21年第2四半期】

【概要】

1. 今回の報告期間は平成21年3月30日～平成21年6月28日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は266件（前回報告249件、前年同時期276件）で、過去7位
そのうち男性248件、女性18件で、男性は前回（235件）より増加
女性も前回（14件）より増加
3. 新規AIDS患者報告数は116件（前回報告124件、前年同時期109件）で、過去4位
そのうち男性112件、女性4件で、男性は前回（116件）より減少
女性は前回（8件）及び前年同時期（6件）より減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は382件で過去5位

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
同性間性的接触によるものが172件（全HIV感染者報告数の約65%）
そのうち163件が日本国籍男性
異性間性的接触によるものが61件（全HIV感染者報告数の約23%）
そのうち男性46件、女性15件
年齢別では、特に20～30代が多く、40代以上では前回及び前年同時期より増加
2. 新規AIDS患者：
同性間性的接触によるものが59件（全AIDS患者報告数の約51%）
異性間性的接触によるものが32件（全AIDS患者報告数の約28%）
そのうち男性29件、女性3件
年齢別では、特に30代に多く、50歳以上が前回及び前年同時期より増加

【検査・相談件数の概況（平成21年4月～6月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数は30,869件、自治体が実施する保健所以外の検査件数は6,646件、保健所等における相談件数は48,935件
前年同時期に比べ、抗体検査件数・相談件数ともに減少

【献血の概況（平成21年1月～6月）】

1. 献血件数（確定値）は2,617,896件（前年速報値2,504,367件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数は53件（前年速報値58件）
10万件当たりの陽性件数は2.025件（前年2.316件）

【まとめ】

1. 感染経路別に見ると、同性間性的接触によるHIV感染が増加傾向であることに変わりはない。
2. 地方自治体等の関係者の努力によりHIV抗体検査件数は第1四半期ではこれまでより増加したが、第2四半期では減少した。
3. 各自自治体においては、利用者の利便性に配慮した検査・相談事業を推進し、予防に関する普及啓発に努めることが重要である。
4. 早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。